

[Lady Walking Her Dog after Claude Louis Desrais

Sculpture object by Marta Klonowska]

マルタ・クロノフスカ

2012年

金属製骨組、ガラス H65×35×75cm

Courtesy: Iorch + Seidel gallery and Marta Klonowska

Photo: Eric Tschernow

現代美術の歩き方

MONTHLY SELECTION
今月の一品

文・村田大輔

(富山市ガラス美術館設置準備室 学芸員)



左：Claude Louis Desrais (1746-1816) 「Lady Walking Her Dog」

Published in "Galeriées des Modes et Costumes Français"

(Paris, ca. 1778-87)

Courtesy: Iorch+seidel and Marta Klonowska

マルタ・クロノフスカはワルシャワで生まれ、現在テュッセルドルフで制作している。2003年から作家は「犬」をテーマにしたシリーズに着手。本シリーズはベラスケスやゴヤといった画家の肖像画のなかで描かれる犬をモチーフとする。本作の源泉も18世紀フランスのクロード・ルイ・デスレーによる作品に登場する犬である。作家はこうした犬をスケッチし、骨組みを作り、無数のガラス片によって完成させる。着想を得た絵画は作家によって、オブジェのガラスと同系統の単色で複製され、同一空間に展示される。ガラスという無機質な素材が、オブジェと名画の何とも不思議な関係を強調する。

クロノフスカは名画における動物について「人間の感情を想起する抽象的な隠喩」と述べている。ユーモアと軽快さを取り入れながら、素材のみならず時代や文化といった世界の無数の断片を集積し、再構築するクロノフスカの作品は、我々の心理をも揺さぶりながら未知なるイメージを提示している。

(むらた・だいすけ)